

# 教育あがつま

No. 145

令和2年3月6日発行  
吾妻教育事務所  
吾妻郡町村教育委員会連絡協議会

## 未知なる状況への対応力

草津町教育委員会 教育長 吉田 秀男



2019年はラグビーワールドカップ開催によって日本中がワンチームとなって盛り上がり、そして2020年は東京オリンピック・パラリンピック開催により、更なる盛り上がりが期待されています。

このような中であって存在感が多少薄れましたが、2019年2月に「無人探査機はやぶさII」が小惑星リュウグウに着陸し、その後の極めて困難な数々のミッションを無事に終え、2019年11月に帰還の途につきました。順調であれば2020年末には地球に帰還する計画となっています。今回のミッションによって想定どおりの鉱物採取が確認できれば、「太陽系の起源・進化」や「生命誕生の原材料物質」を解明できると、大きな期待が寄せられています。

この宇宙科学事業には多額の資金が投じられ失敗の許されない状況下でしたが、技術者達は常に可能性を信じ、遙か遠く離れた未知なる世界で想定外の事象に遭遇しても、その都度問題解決を図り、多くの困難を乗り越えた結果であると語られています。正に、『人』の可能性は無限であることを証明しています。己の限界を予め設定することなく自分を信じ、また仲間（チーム）を信じて、立ち塞がる様々な困難に立ち向かい、創意工夫のアイデアによって難題を克服し、可能性に挑んでいくことが重要であることを示しています。学習指導要領改訂の考え方の一つに、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力」があります。この対応力が養われ培われ、将来に繋がることを期待しています。

## 令和元年度 学校・園訪問のまとめ

【学校教育係】

今年度お願いしてきた以下の7点について、成果や課題をまとめました。各学校・園の次年度の指導に生かしていただきたいと思えます。

### [確かな学力]

#### ○社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善

各校では新学習指導要領の全面実施に向け、着実に準備が整いつつありますが、教育課程について特に右記の3つの視点での見直しをもう一度お願いします。

また、小学校では観点別学習状況の評価が3観点になります。（中学校は令和3年度より）「指導と評価の一体化」について充実させていくとともに、「評定に用いる評価」場面を精選したり、観点別学習状況評価を評定に総括する際の適切な決定方法について共通理解を図ったりするなど、学習評価の円滑な実施をお願いします。

#### ○児童生徒主体の「考え、表現する授業」の充実

多くの学校で、事務局が提案している指導事例も積極的に活用していただきながら、授業の流れ（めあてー中心活動ー振り返り）について一貫性を大切に授業スタイルを確立していただきました。「考え、表現する授業」をより一層充実させるために、今後も追究場面での個別支援や意図的指名を大切に、児童生徒同士で考えを広げたり、深めたりできる支援をお願いします。

- ①育成を目指す資質・能力
- ②主体的・対話的で深い学び
- ③カリキュラム・マネジメント